

ジェンダー平等を考える

◆なぜジェンダー平等なのか？

男性はどちらかというと、経済や戦争的考えが強いと言われています。それに比べて女性は産む性として、命を守る事・福祉（「しあわせ」や「ゆたかさ」を意味する言葉であり、すべての市民に最低限の幸福と社会的援助を提供するという理念）に強いと言われています。それがどちらか（男性）に偏っているのが日本の現状なのです。平等ではないのです。

◎2020 年度に「女性後進国」と言われる根拠が明らかになりました。

ジェンダー度に変化がありました。156 カ国中 120 位（121 位から 1 つ上がった）政治部門では 147 位、経済部門は 117 位です。如何に男社会かが顕著です。この背景は

① 無意識の偏見 ② 公平でない環境 ③ 男性の家庭参画 が考えられます。

◆下関に提案です

下関市 市民部 人権・男女共同参画課で市民同士が話し合う場を頻繁に提供してはどうでしょうか。「第 4 次下関市男女共同参画基本計画」が 2021 年 2 月に発表されました。いつも思うのですが、机上ではなく市民の生活にどう落とし込んでいくかが重要です。その為にも①～③を話し合う中で、一人ひとりが生きづらい人たちや平等ではない現状がたくさんあることに気づき、初めて男女共同参画法の意味が分かるのではないのでしょうか。するとジェンダー平等の必要性が理解され、誰もが住み良い社会に変わっていくのではないのでしょうか。

